

## 実績評価書

平成18年7月

政策体系	番号	
基本目標	5	労働者の職業能力の開発及び向上を図るとともに、その能力を十分に発揮できるような環境を整備すること
施策目標	3	国際化に対応した職業能力開発を推進すること
	VII	海外進出企業等の日本人労働者の職業能力開発を図ること
担当部局・課	主管部局・課	職業能力開発局海外協力課
	関係部局・課	

## 1. 施策目標に関する実績の状況

実績目標1	企業において国際的な事業展開を担う人材の育成を支援すること (実績目標を達成するための手段の概要) 我が国民間企業において国際的な事業展開を担う人材の育成を支援するために、以下の事業を実施する。
① 海外職業訓練指導者養成事業	海外職業訓練を担当する我が国労働者を6ヶ月から12ヶ月の間、海外民間企業へ派遣し、実地に海外職業訓練を行わせることにより、我が国労働者の海外職業訓練に関する能力の開発向上を図るもの。
② 海外企業内訓練シルバーコンサルタント事業	我が国の経験豊富な中高年齢の専門家を派遣し、海外で困難に直面している我が国の職業訓練指導者の指導・援助を行うことにより、同指導者の能力開発を行うもの。
③ 情報提供事業	諸外国の雇用関係法令や人事、能力開発に関する情報並びに海外への既進出企業の先進事例等の各種情報を、図書館サービス、インターネット等により、民間企業等に提供するもの。
④ 相談援助事業	中小企業経営者、国内外の日本人労働者等を対象にした相談窓口等における各種相談援助を行うもの。
⑤ 国内セミナー事業	企業の国際的な事業展開に対応した人材育成等をテーマとするセミナーを国内各地で開催するもの。
⑥ 海外セミナー事業	企業の国際的な事業展開に対応した人材育成をテーマとするセミナーを日系企業の進出の多い海外各地において開催するもの。
⑦ 海外コンサルティング事業	

海外における日系中小企業等の求めに応じて、専門的知見を有する者を現地に派遣し、実地に指導・助言を行うもの。

#### ⑧ 海外派遣前研修事業

中小企業等の海外派遣要員となることが予定されている者等を対象に、国際業務に必要となる実践的な知識・技能等を付与するための派遣前研修を実施するもの。

#### ○関連する経費

・情報提供事業（平成17年度予算額）	1 3 9 百万円
・相談援助事業（平成17年度予算額）	1 3 4 百万円
・国内セミナー事業（平成17年度予算額）	3 5 百万円
・海外セミナー事業（平成17年度予算額）	5 8 百万円
・海外コンサルティング事業（平成17年度予算額）	1 1 0 百万円
・海外派遣前研修事業（平成17年度予算額）	5 3 百万円

（評価指標の考え方）

上記①～⑧の各事業における派遣件数（①及び②）、アクセス件数、入館者数及び貸出件数（③）、実施件数（④及び⑦）及び参加者数（⑤、⑥及び⑧）を集計。

（評価指標）	H 1 3	H 1 4	H 1 5	H 1 6	H 1 7
指導者養成事業による派遣者数（人）	81	77	113	76	—
シルバーコンサルタント派遣件数（件）	10	17	33	19	—
ホームページアクセス件数（件）	104,581	146,096	1,325,525	1,709,519	1,992,126
国際情報センター入館者数（人）	32,786	32,574	32,530	35,685	27,144
国際情報センター貸出冊数（冊）	5,255	6,222	5,541	6,001	5,763
相談援助件数（件）	1,497	1,574	1,384	1,721	2,891
国内セミナー参加者数（人）	—	—	765	854	978
海外セミナー参加者数（人）	—	—	—	—	1,463
海外コンサルティング件数（件）	—	—	—	—	100
海外派遣前研修参加者数（人）	—	—	—	—	703

（備考）

- ・ホームページのアクセス件数については、平成14年度まで各事業ごとのトップページへのアクセス数をカウントしていたが、平成15年度からはホームページの大幅改訂に伴い、全てのページへのアクセス数をカウントすることとした。
- ・海外職業訓練指導者養成事業・海外企業内訓練シルバーコンサルタント事業は平成16年度をもって廃止。
- ・平成17年度から、海外セミナー事業、海外コンサルティング事業及び海外派遣前研修事業を実施。
- ・評価指標は、（財）海外職業訓練協会調べ。

## 2. 評価

### (1) 現状分析

#### 現状分析

企業活動の国際化の進展を背景にして、企業の海外進出数や海外に派遣される労働

者数は量的にますます拡大しつつある。また、海外における事業戦略や人的資源管理など企業経営面での質的な変化に伴い、こうした企業活動を支える人材の育成が喫緊の課題となっている。

特に、厳しい国際競争の中で生き残りをかけて、新たに海外へ進出する中小企業が増加傾向にあるが、これら中小企業等においては、ノウハウを継承する時間も人的余裕もある大企業と異なり、海外における即戦力として、適切な研修・訓練等もないままに海外に労働者を派遣し、こうした者が海外においていわば孤立無援の状態となり、困難に遭遇し易く必要以上の労苦を経験することが多い。

このような事情から、特に中小企業においては、情報提供、セミナー開催、相談援助等の短期間かつ個別のニーズに即した職業能力開発の機会が求められている。

## (2) 評価結果

### 政策手段の有効性の評価

①指導者養成事業及び②シルバーコンサルタント事業は平成16年度限りの事業である。

③情報提供事業については、国際情報センター入館者数及びホームページのアクセス件数の実績を見ると、それぞれ約3万人及び約200万件と高い数値となっており、国際人材の育成に関する情報が広く活用されている。

④相談援助事業では、年間3000件程度の国際人材の育成に関する相談が民間企業から寄せられ、各種アドバイザーによりきめ細やかな相談・援助を行っており、その結果を企業が海外に派遣する人材の育成に活用するなど、国際人材の育成に有効に活用されている。

⑤国内セミナー事業及び⑥海外セミナー事業については、企業の国際的な事業展開に対応した人材育成等をテーマとするセミナーに国内で約1000人、海外では約1500人の参加者を集めており、国際人材の育成に有効に活用されている。

⑦海外コンサルティング事業については、100人の専門的知見を有する者を現地に派遣し実地に指導・助言を行っており、実践的な職業能力開発の機会を提供し有効に活用されている。

⑧海外派遣前研修事業については、中小企業等の海外派遣要員となることが予定されている者等約700人に対して、3日～4日の研修を実施し実践的な知識・技能等を付与しており、有効に活用されている。

なお、本事業は、海外派遣前に適切な研修・訓練等を行う時間的及び人的余裕もなく、公的な支援をより必要としている中小企業等を念頭に置き事業の見直しを行い、平成16年度をもって海外職業訓練指導者養成事業・海外企業内訓練シルバーコンサルタント事業を廃止し、平成17年度から海外セミナー事業、海外コンサルティング事業及び海外派遣前研修事業を実施したものである。

これにより、短期間かつ個別のニーズに即した国際的な事業展開に即した職業能力開発の機会を提供することとなり、中小企業等の利用機会が増加しており、事業実績においても事業対象者数の大幅な増加が見られるものである。

本事業の利用者からも、企業活動の国際化に対応した人材育成に資するものとして高く評価されている。

政策手段の効率性の評価
-------------

情報提供事業については、特にホームページアクセス件数について大幅な増加が見られるが、これは海外進出前及び進出後の双方の企業のニーズを適切に把握し情報の提供を行った結果であり、効率的な事業実施に向けた取り組みを行っていると言える。

国内及び海外セミナー事業についても、開催地の企業や商工会議所等からのニーズを踏まえてテーマの設定を行っており、効率的な事業の運営を行っていると言える。

相談援助事業及び海外コンサルティング事業についても、事前審査の段階においてコンサルティング内容に応じたアドバイザーのマッチングを行い、問題に対して無駄のない最適な対応を行うことができるよう事業の効率性を高めている。

総合的な評価
--------

事業活動の国際化は今後もますます進展する傾向にあり、我が国民間企業にとって、国際化戦略、事業の海外展開は重要な経営手段の一つとなっている。生産部門の海外への流出による産業・雇用の空洞化等も一部では懸念されていることから、雇用政策等との整合性を図ることに留意する必要があるが、国際化に対応した職業能力開発の重要性は今後より一層重要になっていくものと考えられる。

本事業においては、海外派遣前に適切な研修・訓練等を行う時間的及び人的余裕もなく、公的な支援をより必要としている中小企業等を念頭に置き事業の見直しを行い、相談援助、コンサルティング、派遣前研修等、短期間かつ個別のニーズに即した形態で、国際的な事業展開に即した実践的な職業能力開発の機会を提供しており、とりわけ中小企業等において国際的な事業展開を担う人材の育成に大きく貢献している。

とりわけ、情報提供事業については、情報化が急速に進展した現在、経済においても、国の政策においても、そして企業戦略においても情報は最も重要な要素の一つとなっていることを踏まえ、インターネット等の情報通信技術を最大限活用した情報収集、分析及び発信並びに質の向上に力を入れており、かつ、有益な情報の効率的な提供をより一層進めることによって、国際的な事業展開を担う人材の育成に大きく貢献しているものである。

評価結果分類
--------

- |                  |
|------------------|
| 1 目標を達成した        |
| ② 達成に向けて進展があった   |
| 3 達成に向けて進展がみられない |

分析分類
------

- |                    |
|--------------------|
| 1 分析が的確に行われている     |
| ② 分析がおおむね的確に行われている |
| 3 分析があまり的確でない      |

### 3. 特記事項

なし
----